

2023年3月8日

関係各位

大和アセットマネジメント株式会社

運用資産の温室効果ガス排出量ネット・ゼロに 向けた「2030年中間目標」の設定について

大和アセットマネジメント株式会社（代表取締役社長：小松幹太、以下「当社」）は、Net Zero Asset Managers initiative（NZAMI、※1）への参画を通じて、2050年までの投資先企業の温室効果ガス（GHG）排出量ネット・ゼロ実現を目指しています。今般、2050年の目標達成に向けたマイルストーンとして、「2030年中間目標」を設定しました。

「2030年中間目標」は、運用資産（2022年10月末時点：約23兆円）の67%を対象とし、単位当たり温室効果ガス排出量を2019年比半減（50%削減）することを目指します。なお、今回対象外とした運用資産は、ソブリン債等の現時点ではポートフォリオに帰属する温室効果ガス排出量の計算方法が確立されていない資産です。今後計算が可能となったものから順次対象資産として追加することを検討してまいります。

当社では「2030年中間目標」および2050年までのネット・ゼロの達成に向けて、主に以下の3つの観点から取り組みを推進してまいります。

（1）エンゲージメントと議決権行使

投資先企業におけるネット・ゼロに向けた経営のコミットメントを把握し、投資先企業に対する建設的な対話（エンゲージメント）や議決権行使を活用することで、目標達成の実効性を高めてまいります。

（2）ネット・ゼロ実現に資する商品の開発

ファンド自体の温室効果ガス排出量をネット・ゼロとする商品や、脱炭素社会実現に貢献する企業へ投資する商品など、既存商品の周知や新商品開発を行い、ネット・ゼロ実現に資する投資機会をお客様へ提供してまいります。

（3）関係者との連携強化

当社ステークホルダーとの連携を強めるとともに、NZAMIをはじめとする国内外の投資家イニシアティブへの参画を通じた政策提言などでの協業、インベストメント・チェーンの中で資金の出し手である受益者に対する啓蒙などに取組みます。

—Press Release—

当社は、サステナビリティ方針を定めており、資産運用業を通じて、人々の豊かな暮らしと持続可能な社会の実現に貢献することを社会的使命としています。気候変動問題への対応は、持続可能な社会を実現するために取り組むべき重要な課題の一つであり、「2030年中間目標」の設定は、2050年までにネット・ゼロを実現するための重要な第一歩です。

当社は、共に挑戦し続けるパートナーとして投資を通じチャンスある未来を実現します。

※1 NZAMI のホームページ（英語）

<https://www.netzeroassetmanagers.org/>

以 上